

まちの駅の活動展開について

I. 観光庁の実証事業に応募（高岡市）

事業名称：まちの駅ネットワークを活用した観光資源の磨き上げと案内人のスキルアップ

1. 取組の趣旨

- ・まちの駅ネットワークとの連携による多様な観光メニューの創出と磨き上げ
- ・まちの駅ネットワークを活用した情報発信力の強化
- ・まちの駅を運営する駅長やまちの駅案内人のスキルアップ

2. 実施内容

（1）まちの駅観光モニターツアー&ワークショップの実施（1泊2日、3回予定）

①よそ者目線による観光資源の発掘

- ・市外及び県外まちの駅メンバーの参加を得て、高岡市のまちの駅及び観光資源を知ってもらうモニターツアー&ワークショップを行う。

②富山県内のまちの駅連携による観光資源の磨き上げ

- ・富山県まちの駅連絡協議会を構成する富山市、高岡市、黒部市は、それぞれに地域性に育まれた独特の個性を持っている。各地域の観光資源の組合せによる魅力度向上化、コロナ禍対策として少人数を対象にした多様な観光プログラムの創出を検討する。

③県外のまちの駅ネットワークとの連携強化

- ・普段は地元で楽しめないものをプラスした観光メニュー作り。まちの駅ネットワーク同士の連携による新たな体験メニューの開発。例えば、県外のまちの駅の地域食材を使った創作料理の開発、全国各地の映像を見ながら郷土料理を食べるプログラム、等。

（2）情報発信・プロモーションの実施

①ICTを活用した情報発信のスキルアップセミナー

- ・継続的な情報発信のために、SNS発信のスキルアップを図る。TwitterやInstagramの活用について、まち歩きを行いながら体験し、マスターする。モニターツアーに合わせて開催。

②他県まちの駅とのバーチャル観光の施行

- ・コロナ禍によって外出を控えている傾向があり、自宅で完結できるバーチャル観光の可能性を検討する。動画を作成し、各地のまちの駅と連携して実験的に試行する。

（3）配布用パンフレットの作成

- ・ワークショップの成果をパンフレットにまとめて、富山県内及び近隣各まちの駅、さらには全国のまちの駅ネットワークに配布する。

II. まちの駅の ZOOM 会議の進め方

- ・各まちの駅ネットワークに相談、打診を始めている。まだ、メンバー間で実施していない、経験したことのないまちの駅が多い。
- ・自治体でもオンライン専用の部屋や PC を用意し始めている。セキュリティの関係で、通常業務用の PC の使用は禁止している。

そこで、以下の順番で進めていく。

1. 各まちの駅で ZOOM 会議をしよう。

- ・練習を兼ねて、各まちの駅ネットワークでオンライン会議を試行する。
- ・本部事務局が ZOOM ミーティングルームを設定する。
- ・地元メンバーでミーティングを設定してもらおう。事務局メンバーも参加し、情報交換を行う。

2. 2つのまちの駅で ZOOM 会議を行う。お互いの地域やメンバーを紹介し合う。

- ・物産交流などの期待がある。
- ・顔の見える関係を作る。

3. テーマを決めて、各地のまちの駅メンバーに参加してもらい ZOOM 会議を行う。

- ・まちの駅の間業種どうしでの交流・連携の促進
- ・各地の課題を一緒に考えるオンライン会議
- ・テーマと講師を設けてのセミナー

III. Web 会の定例開催

- ・毎週金曜日の 16 時から定例的に開催。自由な意見交換の場として
- ・簡単な記録を WEB に掲載している。…本原さん
- ・ニュースレターのネタ探しの場として

1. まちの駅物産のオンラインショップの検討

- ・簡易オンラインショップ作成プラットフォームの BASE の活用の検討

2. アイデアの具体化

- ・コロナ禍の中での取り組みアイデアをカタチにする。

①マスクコンテスト…企画書を作って募集、WEB 上で投票

②まちの駅長カードの作成

- ・まちの駅長が起こりの思えるものを作る。
- ・デザインを公募するというアイデアも出された。